

○ 本校の概要

本校は児童数271名、うち通常学級(258名)11学級、固定級(13名)2学級を有している。本校学区は、旧東海道沿いに発展した街と国道沿いに林立するマンションで構成され、新旧の住民が調和して共生している地域である。また、平和の森公園と隣接していることから自然環境に恵まれた地域でもある。今年度は、太田教育ビジョン プラン1 「未来社会を創造的に生きる子供の育成」に重点を置き、「おおたの未来づくり科」新設に向けた研究実践校として研究を行っている。研究を通して「ブルートライアングルプロジェクト」を軸に「地域の創生」にチャレンジするとともに、児童にボランティアマインドをばぐくみ、生命尊重の心や態度、持続可能な社会を実現する社会参画意識の基礎を育てていく。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, ブラン2 児童・生徒一人ひとりの学力の向上, ブラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます, ブラン4 スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, ブラン5 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします, ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価